

本年度の目標		項目	指 標	評価の方策等	評 価 規 準	取組の状況	評価	改 善 点					
目標設定理由	中長期経営目標												
<p>豊かな心 (徳) やさしく</p>	<p>○いじめ・不登校問題は本市の重要課題であり、学校・家庭・地域が連携協力して解決していく必要がある。</p> <p>○本市教育の目標「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」の達成に向けた取組を推進していく。</p>	<p>心豊かで自らを律し、自他の違いを認め合い、相手の立場に立って考え、行動できる思いやりの心をもつ子どもを育成していく。</p>	生徒指導の充実	<p>児童理解に立って、問題事象の解決に取り組む中で、自他を尊重する心高め、人と人とのつながりが意識できる好ましい人間関係を形成していく。</p>	・子どもとのコミュニケーションづくり	A	児童理解のもと、明るく支持的な学級のまとまりの中、自他を尊重する心高め、好ましい人間関係を形成している。	<p>・問題事象が起きた場合は、当事者の話をしっかり聞き、時系列に沿って、正しく事象を把握する。</p> <p>・日記や子どもたちとの会話、生活アンケートの後の聞き取り等子どもの考えや思い等の情報を聞き逃さないようにしている。</p>	2.8	<p>・休み時間等に子どもたちの様子を観察し、友人関係を把握していく。</p> <p>・「自分の気持ちは言葉にしないと伝わらない」ことを繰り返し指導していく。</p> <p>・好ましい人間関係について、機会を逃さないように指導していく。</p>			
					B	人と人とのつながりが意識できる、好ましい人間関係づくりに努めている。							
					C	問題事象が起こった時は、児童の話をしっかり聞き取り、問題の解決に努めている。							
					D	児童とのコミュニケーションづくりに努めている。							
			道徳授業の充実	<p>「他の人とのかかわり」に関することに力点を置き、副読本、資料や体験的な活動等を適切に活用して、道徳の授業を充実していく。</p>	・わたしたちの道徳副読本等の活用	A	いのち、副読本・資料等の活用を進め、道徳の授業の充実に努めている。	<p>・道徳の時間を確保し、副読本や「わたしたちの道徳」を中心に学習を進めている。</p> <p>・他人とのかかわりを学ぶ一歩として自分の考えや気持ちを伝えることの大切さを指導している。</p>	2.4	<p>・対人スキルアッププログラムを取り入れた学習に取り組んでいく。</p> <p>・全教育活動において道徳的価値を意識させ、子どもたちの中の道徳性が高まるように支援していく。</p>			
					・体験的な活動を生かした指導	B	「他の人とのかかわり」に力点を置いた指導に努めている。						
					・他の人とのかかわりに関する指導	C	道徳学習の内容項目のすべてについて、指導するようにしている。						
					・授業時数の確保	D	道徳の標準授業時数の90%以上を確保している。						
<p>自ら学ぶ力 (知) かしこく</p>	<p>○学力の向上は本市の課題であり、学校教育の主たる目標の一つである。</p> <p>○数学的な思考力・表現力及び知識や技能を活用して問題を解決していく力を培っていく必要がある。</p>	<p>基本的な知識や技能を身につけ、自分の考えを表現したり、伝えたりして、意欲的に学習に取り組む子どもを育成していく。</p>	学力の向上	<p>子どもたちの学習状況を適切に把握し、繰り返し学習や朝自習・家庭学習等を計画的・効果的に行い、一人一人の学力を向上させていく。</p>	・CRT結果の分析と活用	A	CRTや単元テスト、ミニテスト等の結果を指導に生かしていくことで、一人一人の学力の向上に努めている。	<p>・家庭学習のプリントを発行し、その日の学習の復習になるようにしている。また、学習の様子等を余白に書き、家庭に発信している。</p> <p>・基礎的・基本的な学力が身に付くように、定期的に小テストを繰り返し行っている。</p>	2.9	<p>・子どもたちが取り組みやすくなるような課題プリントの作成や評価の仕方等を工夫する。</p> <p>・子どもたちが進んで学習するように自主的に取り組みせ、認め称賛していく。</p> <p>・子どもたちに学習の達成感をもたせる。</p>			
					・ミニテストや単元テストの活用	B	基礎的・基本的な内容の習得や定着を図るために、繰り返し指導を工夫している。						
					・朝自習の活用	C	練習問題やドリル問題等を活用し、一人一人の学習内容の定着に努めている。						
					・読書好きの子どもへの育成	D	朝の自習時間を積極的に活用している。						
			算数授業の充実	<p>学び方を学ばせ、問題解決型の学習過程を基に、数学的な思考力・表現力をはぐくみ、知識や技能を活用して問題を解決していく力を伸ばしていく。</p>	・算数的活動の工夫	A	数学的な思考力・表現力を伸ばし、知識や技能を活用して問題を解決していく力を培っている。	<p>・ノートの取り方の工夫や資料の提示等を工夫した。</p> <p>・つかむ、みつめる、ねりあげる、つかう、まとめるという5段階を意識して、日々算数科の授業を行っている。</p> <p>・問題解決学習を基盤として思考力・表現力の向上に取り組んだ。</p>	2.7	<p>・ノート指導の充実に努める。</p> <p>・より一層の個別指導の充実を図る。</p> <p>・つかう、まとめる時間が十分に確保できるようにしていく。</p> <p>・自分の考えを書ける子どもたちを育てていく。</p>			
					・問題解決的な学習過程の実践	B	数学的な思考力・表現力の育成を意識して、授業を進めている。						
					・数学的な思考力・表現力と活用する力の育成	C	問題解決的な学習過程を授業の基本として、基礎的・基本的な内容の定着に努めている。						
					・年間授業時数の確保等	D	算数の標準授業時数の90%以上を確保している。						
			<p>たくましい体 (体) たくましく</p>	<p>○子どもを取り巻く社会では、事件事故が多発し、安全・安心を求める保護者・地域の声が強い。</p> <p>○規範意識を高め、場に応じたあいさつができる子どもの育成が望まれている。</p>	<p>健康・安全及び礼節に関する知識と態度を有し、生涯にわたって心身ともに健康で、安全に過ごすことのできる生活力豊かな子どもを育成していく。</p>	安全・安心の実現	<p>学校事故防止のために、日常的な安全点検と学級活動等での安全指導を徹底し、ルールを守り、安全・安心に過ごす態度と実践力をはぐくんでいく。</p>	・穴生小生活のきまりの徹底	A	児童が安全・安心に過ごす態度と実践力を身に付けている。	<p>・名札をつける、廊下を走らない等学校生活において守るべきルールについては、逐一声をかけたり、話合いをさせたりして意識させるようにする。</p> <p>・自発的に安全な行動ができるように「穴生スタンダード」を教室内に掲示し、朝の会や帰りの会等で確認している。</p>	2.9	<p>・繰り返し、根気強く指導していく。</p> <p>・自分の身を守るのは、自分であることを意識させ、指導の徹底を図る。</p>
								・安全指導の徹底	B	学校事故防止に努め、ルールを守って安全に過ごしていく態度の育成に努めている。			
								・安全点検の励行	C	「穴生小スタンダード」をもとに、安全・安心な過ごし方について指導している。			
								・校内事故への適切な対応と再発防止	D	学校の施設・設備については、日常的な安全点検に努めている。			
挨拶の励行	<p>学校や家庭・地域で、進んで挨拶ができ、場や相手に応じたマナーや礼儀を身に付けた児童をはぐくんでいく。</p>	・学校・家庭・地域でのあいさつの励行				A	心のこもったあいさつができ、言葉遣いや返事など小学生らしいマナーや礼儀を身に付けている。	<p>・元気のよいあいさつ、正しい言葉遣いができるように指導している。</p> <p>・相手に伝わる声の大きさと、聞いた人が気持ちのよいあいさつができるように、その都度指導している。</p>	2.5	<p>・あいさつ、返事、言葉遣い、マナーについて考えさせる場を設け、どんな姿を目指すべきなのかを明確にもたせる。</p>			
		・場に応じた言葉遣いの推奨				B	児童は、場に応じた気持ちのよいあいさつを励行している。						
		・マナーや礼儀についての指導				C	児童は、元気のよいあいさつをしている。						
		・児童や保護者のアンケート等				D	学校や家庭等で、進んであいさつができるように指導している。						

※ 評価点は、評価項目ごとに、A（4点）、B（3点）、C（2点）、D（1点）として、その平均点を示すものである。達成値を2.5以上としている。